

【参考】 境港市における下水道事業の概要

1. 下水道の整備状況等

※別紙計画平面図を参照

(1) ほぼ市内全域(農用地等除く)が下水道の計画区域であり、当初は60年程度の整備期間を想定していた。

(2) 昭和58年度に事業着手し、平成2年度より供用(下水道の一般使用)を開始した。

* 佐斐神町の終末処理場の下流側から上流側の境地区方面へ順次整備してきた。

(3) 平成22年度末における公共下水道の普及率は51.6%、平成23年度は境地区(大正町、中町ほか)、上道地区(境高等学校周辺)、三軒屋町などを整備予定である。

* 普及率の参考 鳥取県平均:64.3%、全国平均:75.1%(岩手県、宮城県、福島県を除く)

(4) 下水道の前回認可区域(大正川より東側の境地区など)は、平成23年度に整備完了の予定であったが、東日本大震災の影響などにより、概ね平成24年度に整備完了の予定となった。

(5) 平成22年度に深田川の東側まで認可区域を拡大した。現在のペースで境地区周辺、については平成28年度頃にほぼ整備できる見通しである。

* 終末処理場から離れているため、人口密集の境地区の整備がまだ残っており、優先的に整備する方針である。

◇整備状況(平成23年3月末時点)

項目	行政区域	全体計画	整備済み
人口(人)	35,960(A)	30,300	18,626(B)
面積(ha)	2,879	1,743	747.1

◇普及率及び水洗化率(下水道への接続率)

普及率(B)÷(A)	水洗化戸数	水洗化人口	水洗化率(C)÷(B)
51.6%	6,480戸	15,715人(C)	84.7%

◇既存の主要施設

終末処理場	汚水管渠	中継ポンプ場	日最大処理能力	日平均流入水量
下水道センター	147.8km	1箇所(下ノ川)	7,800m ³ /日	5,401m ³ /日

※日平均流入水量は、平成22年度の年間実績

2. 下水道会計の財政状況

(1) 支出(平成22年度実績:2,012百万円)

(単位:百万円)

建設費 (污水管渠、処理場など) 709	市債償還金(返済) 1,026	維持 管理費 277
----------------------------	--------------------	------------------

※建設費のうち、国庫補助事業:530百万円、地方単独事業:179百万円

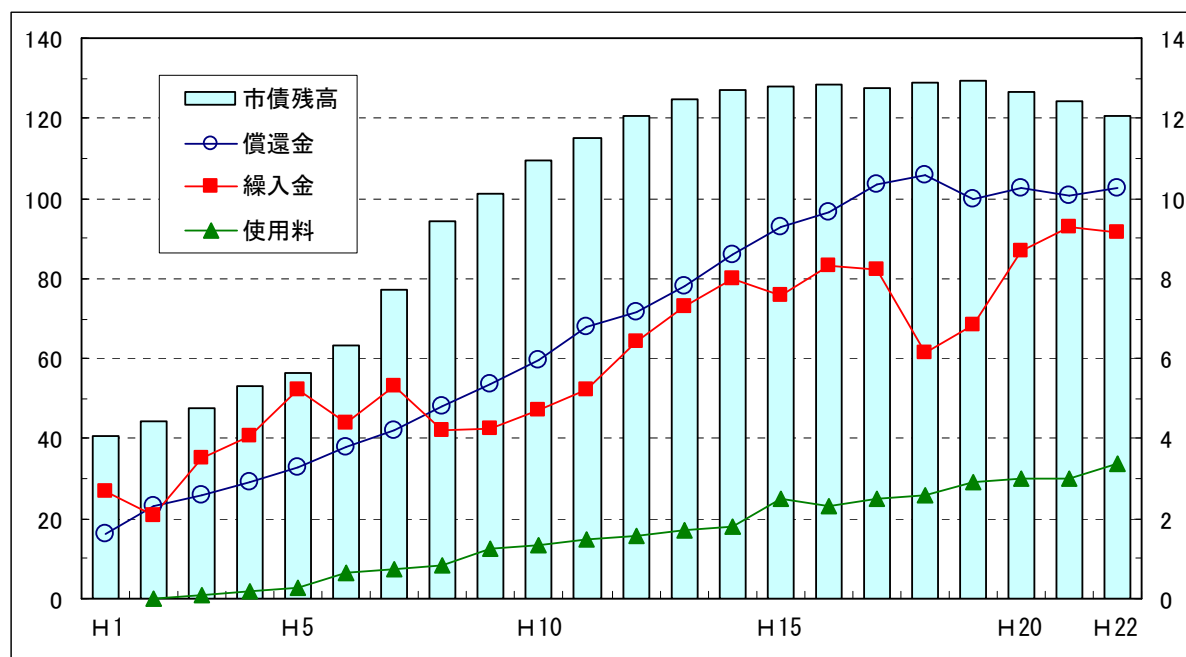
(2) 収入(平成22年度実績:2,012百万円)

(単位:百万円)

国庫 補助金 253	市債(借入) 379	受益者 負担金 61	一般会計繰入金(市税等) 916	下水道使用料 (使用者負担) 339	その他 64
------------------	---------------	------------------	---------------------	--------------------------	-----------

(3) 市債残高、償還金等の推移

(単位:億円)



※左軸 - 市債残高(借入残高、平成22年度末の残高:約121億円)

※右軸 - 市債償還金(返済)、一般会計繰入金、下水道使用料

※平成18年度、19年度の一般会計繰入金は、一時的な借入等により減額措置